

(22) フェンシング

令和6年度第59回群馬県高等学校総合体育大会
兼令和6年度 第66回関東高等学校フェンシング選手権大会県予選会

- 1 期 日 令和6年5月11日(土)・12日(日) 両日とも10:00～
- 2 会 場 高崎アリーナ サブアリーナ
- 3 参加人数 学校対抗 監督 1チーム1名
選手 男・女各チーム5名編成
個人対抗 参加各校につき人数制限は下記のとおり。
 - 1)フルーレ 男子20名以内、女子20名以内
 - 2)エペ 男子16名以内、女子16名以内
 - 3)サーブル 男子16名以内、女子16名以内
- 4 競技規則 (1)FIE(国際フェンシング連盟)最新版規則を準用する。
(2)武器検査について
 - ①武器検査はピスト上で主審が実施する。
 - ②必ず予備の武器を準備する。
 - ③試合中の武器の破損は選手の責任とする。
- 5 競技方法 「学校対抗」
 - (1)1チーム5名編成、うち3名による総当たりとし、リザーブに登録された選手の交代が1試合に1回のみできる。
 - (2)男女とも、実動3分5本勝負。
 - (3)その他インターハイの規定に準ずる。「個人対抗」
 - (1)フルーレ・エペ・サーブルとも1回戦プール、2回戦以後トーナメント方式。
- 6 引率・監督 (1)引率者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。(但し、公立学校にあっては職員とする。)また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、県高体連会長に事前に届け出ること。
(2)監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
(3)学校対抗で男子・女子選手が同一校から参加するときはそれぞれの選手を指導する監督を必要とする。
(4)外部指導者の監督については複数校の監督を兼ねることは出来ない。
- 7 参加資格 (1)選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。
(2)選手は本連盟フェンシング専門部に加盟している生徒で、且つ群馬県フェンシング協会に有効に登録を完了している者。
(3)年齢は平成17(2005)年4月2日以降に生まれた者とする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
(4)チームの編成は、全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混合は認めない。

(5) 転校後6ヶ月未満のものは参加を認めない。但し、一家転住の場合は、特例として参加を認める。

(6) 参加選手は、あらかじめ健康診断を受け、当該校長の承認を必要とする。

- 8 表彰 (1) 学校対抗 男女優勝校に持ち回り楯を、1, 2, 3位に賞状を授与する。
(2) 個人対抗 1位より4位までの入賞者に賞状を授与する。

- 9 申込み方法 申込書を4月22日(月)までに下記のアドレスにデータで送信すること。
sunayama@tuc-hs.ed.jp
申し込み後の選手の変更は一切認めない。

10 プロ編成会議 次の通り実施しますので常任委員は必ず出席してください。

期 日：令和6年4月24日(水) 14時より

会 場：高崎商科大学附属高等学校

11 関東大会出場権

男子団体上位2チーム、女子団体2チーム、男子個人フルーレ上位4名、女子個人フルーレ上位4名は埼玉県新座市で開催される第66回関東高等学校フェンシング選手権大会への出場権を得る。

- 12 救急処置 競技中における選手の負傷事故については、主催者において応急の処置はするが、事後の処置は各自において行うこと。

- 13 注意事項 (1) 電気武器の予備を必ず用意すること。
(2) 上衣の下には必ずプロテクター、その他急所には充分防備すること。
(3) ユニフォームについては、鼠型部を覆うオリンピック型を着用すること。
(4) ゼッケンは必ず着けること。
男子：黒字 女子：赤字
(5) ゼッケンは次のように作成し、各自の後足ひざ上につけること。

